

# グローバルマネジメント入門

CGS グローカル教育部門・小林広治

## 講義内容

本学にはグローバル戦略推進センターがあり、グローバル人材の育成に力を入れています。この「グローバル」とは何でしょうか。この言葉は、元々日本企業が世界進出した際に、各国における子会社の経営を現地化する戦略を glocalization（グローバル化）と呼ぶようになったことに由来しています。

本講義では、グローバルの意味、理論の成り立ち、そしてグローバルビジネスへの応用について説明します。冒頭では、「英語でビジネスを学ぶ」意義を日本語でお話し、模擬講義の部分は英語で行います。

## プロフィール

小樽商科大学グローバル戦略推進センターグローバル教育部門准教授。専門はスポーツマネジメント・政策学・社会学。日本で学士を修めた後、アメリカのメンフィス大学にて、修士号（スポーツマネジメント）を取得。そして、ニュージーランドのオタゴ大学にて、博士号（スポーツ社会学）を取得。その後、韓国のスーウォン大学にて、非常勤講師として一年間勤務。2014年から6年間に亘りニュージーランドのリンカーン大学にて講師、そして上級講師として研究及び教育（スポーツ・レクリエーション経営・政策）に携わった。2020年4月より現職。

## グローバルコースの授業

グローバルコースでは、「英語を学ぶ」だけでなく、「英語でビジネスを学ぶ」ことができます。例えば、本講義の他に、「ビジネス経済学」、「観光マーケティング」といった科目を通して、留学生と共に学ぶことにより、英語を国際コミュニケーションのツールとして活用できる力が身に付きます。

## メッセージ

英語で話すのは難しい、留学は不安で怖い、留学生とどう接していいのかわからない、と皆さん思っていないですか。自信はないけど、興味があるという方は模擬講義を受講してみてください。内容が理解できるでしょうか、内容に興味を持てるでしょうか。もし、少しでも理解ができる、興味を持てるようであれば、それをきっかけにして、英語に触れる機会を増やしてみてください。その先には、留学やグローバルコースへの進学が待っているかもしれませんよ。

## 参考図書

Ghemawat, P. (2007). *Redefining Global Strategy: Crossing Borders in a World Where Differences Still Matter*. Harvard Business School Press.